

(様式2)

資料3

沖縄県医療提供体制協議会
(新興感染症等医療部会)

ロジックモデル進捗管理表(新興感染症発生・まん延時における医療)

	C 個別施策						
	番号	指標項目	基準年	直近の前々年	直近の前年	直近	目標
病床確保	(新感C-101)新興感染症発生時からの対応(感染症指定医療機関)						
	新感P-301(指標⑥)	第一種感染症指定医療機関及び第二種感染症指定医療機関の指定数	- 一種 2機関 二種 6機関	- 一種 2機関 二種 6機関	- 一種 2機関 二種 6機関	R6年度 一種 2機関 二種 6機関 →	R11年度 一種 2機関 二種 6機関
	(新感C-102)流行初期の対応(流行初期医療確保措置医療機関等)						
	新感P-302(指標⑦)	流行初期医療確保措置の対象となる協定締結医療機関(入院)数	-	-	-	R6年度 17機関	R11年度 27機関
	(新感C-103)一定期間経過後の対応(医療措置協定指定医療機関)						
発熱外来	新感P-303(指標⑧)	病床確保を行う各協定締結医療機関数	-	-	-	R6年度 46機関	R11年度 36機関
	(新感C-104)特に配慮が必要な患者を受け入れる医療機関の確保						
	新感P-304(指標⑨)	特に配慮が必要な患者の病床を確保する医療機関数	-	-	-	R6年度 27機関	R11年度 16機関
	(新感C-201)発熱外来に対応する医療措置協定の締結						
	新感P-305(指標⑪)	発熱外来を行う協定締結医療機関数	-	-	-	R6年度 231機関	R11年度 281機関
自宅療養者等への医療の提供	(新感C-202)流行初期医療確保措置による医療機関の確保						
	新感P-305(指標⑫)	流行初期医療確保措置の対象となる協定締結医療機関(発熱外来)数	-	-	-	R6年度 178機関	R11年度 166機関
	(新感C-301)居宅等で療養する新興感染症患者への医療提供に対応する医療協定の締結						
	新感P-306(指標⑮)	協定締結医療機関(自宅療養者等への医療の提供)数	-	-	-	R6年度 493機関	R11年度 305機関
	(新感C-302)高齢者施設等への医療提供体制の確認						
後方支援	新感P-307(指標⑯)	高齢者施設への医療提供が可能な協定締結医療機関数	-	-	-	R6年度 417機関	R11年度 218機関
	新感P-308(指標⑰)	障害者施設への医療提供が可能な協定締結医療機関数	-	-	-	R6年度 351機関	R11年度 143機関
	(新感C-401)新興感染症患者以外の患者に対し医療を提供する体制の整備(後方支援)						
	新感P-309(指標⑱)	後方支援を行う協定締結医療機関数	-	-	-	R6年度 47機関	R11年度 36機関
	(新感C-501)医療人材派遣を行う医療措置協定の締結						
医療人材派遣	新感P-310(指標㉑)	医療人材派遣を行う医療措置協定締結医療機関数	-	-	-	R6年度 31機関	R11年度 24機関
	(新感C-601)入院調整体制の構築						
	新感P-311(指標㉒)	沖縄県感染症対策連携協議会の開催回数	-	-	-	R6年度 1	R11年度 1
	(新感C-602)臨時の医療施設及び入院待機施設の設置及び運営の流れの確認						
	新感P-312(指標㉓)	設置運営マニュアル等の整備・点検見直し	-	-	-	R6年度 0	R11年度 1

	B 中間アウトカム						
	番号	指標項目	基準年	直近の前々年度	直近の前年度	直近	目標
	(新感B-101)新興感染症を入院させ、必要な医療を提供する体制の整備(病床確保)						
	新感O-201(指標㉔)	流行初期医療確保措置医療機関の確保可能病床数	-	-	-	R6年度 563床	R11年度 437床
	新感O-202(指標㉕)	各協定締結医療機関(入院)の確保病床数	-	-	-	R6年度 790床	R11年度 987床
	新感O-203(指標㉖)	各協定締結医療機関(入院)の重症者病床数	-	-	-	R6年度 59床	R11年度 72床
	新感O-204(指標㉗)	特に配慮が必要な患者の病床数	-	-	-	R6年度 263床	R11年度 308床
	(新感B-201)新興感染症の疑似症患者等の診療を行う体制の整備(発熱外来)						
	新感O-205(指標㉘)	一日当たりの対応人数	-	-	-	R6年度 5,148人	R11年度 4,167人
	(新感B-301)居宅又は高齢者施設等で療養する新興新興感染症患者に対し医療を提供する体制の整備(自宅療養者等への医療の提供)						
	新感O-206(指標㉙)	往診対応が可能な医療機関数	-	-	-	R6年度 350機関	R11年度 213機関
	新感O-207(指標㉚)	電話・オンライン診療が可能な医療機関数	-	-	-	R6年度 425機関	R11年度 227機関
	(新感B-401)新興感染症患者以外の患者に対し医療を提供する体制の整備(後方支援)						
	新感O-208(指標㉛)	流行初期における後方支援を行う協定締結医療機関数	-	-	-	R6年度 45機関	R11年度 36機関
	(新感B-501)新興感染症に対応する医療従事者を確保し、医療機関その他の機関に派遣する体制の整備(医療人材派遣)						
	新感O-209(指標㉜)	医療人材派遣可能人数	-	-	-	R6年度 155人	R11年度 106人
	(新感B-601)入院調整、臨時の医療施設及び入院待機施設の設置及び運営の確認						
	新感O-210(指標㉝)	入院調整マニュアルの整備・点検見直し	-	-	-	R6年度 0	R11年度 1

	A 分野アウトカム						
	番号	指標項目	基準年	直近の前々年	直近の前年	直近	目標
	(新感A-101)新興感染症の発生・まん延時において、新型コロナウイルス感染症対応における最大規模の医療提供体制を目指し、平時から地域における役割分担を踏まえた新興感染症に対応する医療及び新興感染症以外の通常医療の提供体制の確保を図ります。						
	新感O-101(指標①)	中間アウトカム達成率	- 不明	-	-	R6年度 -	R11年度 100
	(新感A-101)新興感染症の発生・まん延時において、新型コロナウイルス感染症対応における最大規模の医療提供体制を目指し、平時から地域における役割分担を踏まえた新興感染症に対応する医療及び新興感染症以外の通常医療の提供体制の確保を図ります。						
	(新感A-101)新興感染症の発生・まん延時において、新型コロナウイルス感染症対応における最大規模の医療提供体制を目指し、平時から地域における役割分担を踏まえた新興感染症に対応する医療及び新興感染症以外の通常医療の提供体制の確保を図ります。						
	(新感A-101)新興感染症の発生・まん延時において、新型コロナウイルス感染症対応における最大規模の医療提供体制を目指し、平時から地域における役割分担を踏まえた新興感染症に対応する医療及び新興感染症以外の通常医療の提供体制の確保を図ります。						

(結果の表記法)

青: 改善

赤: 後退

黒: 横ばい

黒: 指標評価なし

(新感 A -101)
↑
分野 A: 分野アウトカム
B: 中間アウトカム
C: 個別施策

(新感 O -101)
↑
分野 S: ストラクチャー指標
P: プロセス指標
O: アウトカム指標